



笑顔いっぱい 友達いっぱい

二俣川小だより

4月号

令和4年4月7日

横浜市立二俣川小学校



一人ひとりのよさや個性を大切にしながら

校長 泉 太郎

暖かな春の日差しの中、今日94名の新入生を迎え、令和4年度の二俣川小学校の1年間がスタートしました。二俣川小学校3年目となります校長の泉です。本年度も教職員とともに、子どもたち一人ひとりの健やかな成長を願い指導・支援にあたります。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

昨日4月6日は、新6年生が登校し、教職員と共に入学式や新学期を迎える準備に取り組みました。式場となる体育館の準備、1年生教室の飾り付け、配布物の準備、各教室の椅子・机の数の調整、昇降口をはじめ校舎内の清掃活動などです。一人ひとりがしっかりと活動に取り組み、さっそく最高学年らしい姿を見せてくれました。立場が人をつくる（育てる）という言葉がありますが、今年1年間、二俣川小学校をひっぱり存在として期待が高まります。



満開を迎えた校庭の桜

子どもたちが春休み中に校庭の桜の木は満開を迎えました。地球温暖化の影響か、桜の花のトンネルを通り入学を迎えるのはもう過去のこととなりそうです。校庭の桜の木を眺めながら歩いていると、二俣川小学校にもたくさんの種類の樹木や草花があること改めて気付きました。桜やチューリップのように今がまさに満開ときれいに花を咲かせている草花もあれば、果林のようにつぼみを膨らませ、これから花を咲かせ実をつける準備

をしている樹木もあります。花は咲かなくてもこれから迎える新緑の季節に合わせ、少しずつ葉の緑を鮮やかにしている樹木もあります。ほかにも様々な植物が、自分の成長に合わせこの春をしっかりと迎えているように感じました。子どもたちも同じです。二俣川小学校でも約600名の子もたちが入学・進級の春を迎えました。子どもたち一人ひとりにそれぞれのよさや個性があります。ゆっくりでも少しずつでも、子どもたちが自分の成長を感じられるよう、保護者の皆様がお子さんの成長を感じられるよう、一人ひとりに寄り添い、一人ひとりを大切にしたい教育活動に教職員とともに取り組んでいきます。そして、私の好きな本校のキャッチフレーズである「笑顔いっぱい 友達いっぱい」を具現化していきたいです。



きれいに咲く花々

新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながらの教育活動も3年目となりました。状況は少しずつ改善傾向にはあるようですが、学校としては引き続き「あいていますか」(あいだをあける・てをあらう・マスクをつける・かんきをする)の基本的な取組と教育委員会の活動ガイドラインに沿った教育活動を進めていきます。昨年度はお子様の登校前の体温測定や健康観察の報告等、保護者の皆様にはご負担をおかけしましたが、ご協力ありがとうございました。引き続き保護者の皆様にはご負担をおかけすることになりますが、子どもたちが安心して安全に学校で活動できますよう、ご理解・ご協力をお願いいたします。

本年度もどうぞよろしくお願ひいたします



横浜市立二俣川小学校

職員一同

